

# 半導体産業 展望を議論

熊本高専がオープンキャンパス



半導体産業の展望や人材育成について意見を交わした  
熊本高専の「メガミーティング」=合志市

造や開発をけん引できないか」と提言した。  
熊本市のオジックテクノロジーズの金森元氣常務は

学生に向けて「自分の得意分野を掘り下げて、企業にアピールする力をつけてほしい」と力を込めた。  
メガミーティングは2019年に続いて2回目で、教員と学生による研究成果も発表した。(深川杏樹)

熊本高専は25日、企業や自治体向けのオープンキャンパス「メガミーティング」を合志、八代両市のキャンパスをオンラインで結んで開いた。近年注目される半導体産業の展望や人材育成について学識者や企業関係者が議論を深めた。

直近5年間は微増していると指摘。「シリコンアイランドの復活には、新しい知識や技術を頻繁に共有し、技術者の能力を強化することが必要」と強調した。県内には半導体関連企業が集積し、台湾積体電路製造(TSMC)の菊陽町進出も決まった。東京エレクトロン九州(合志市)開発本部の吉原孝介副本部長は「距離の近さを生かして企業間で協力態勢を整え、製

TSMC熊本進出  
台湾積体電路製造